

[前画面へ戻る](#)

科目名	経営分析論
配当年次	2 年次
開講期間	秋学期
単位数	2
担当教員	藤本 孝一郎(フジモト コウイチロウ)
期間・曜日・時限・教室	秋学期 水曜日 2 時限 1 3 - 4 0 3

※

授業の目的・目標

①授業の概要：

企業活動を分析・評価する経営・会計の手法や就職活動に役立つ決算書を読む力の基本を学びます。履修者の学習水準を確認し進捗（内容・検定試験準備・教材を含む）を考えます。適宜、工業簿記との関連解説をするとともにコンピュータを利用します。（計算機を使う場合もあります。）

★原則として毎回課題を提示します。＊計算科目です。毎回の復習が前提です、しない方は受講しないでください。

【対象者】会計学基礎や簿記原理を学習している方を対象とします。

＊リテラマーケティング検定3級を学習する方

＊ビジネス会計検定3級を学習する方。

＊就職試験のビジネス知識対策やメーカー・銀行・証券・金融関係での就職を目指す方。

＊日商簿記検定2級の工業簿記を学習する方。

【会計学分野での入門レベル】

・対面授業の場合 大学の普通教室かPC設置教室で授業を行います。ただし、自宅での準備学習等のために、自宅で自由に使うことの出来る PC 等（iPad等のタブレットではキーボード利用可能なタイプが望ましい。）を持っていることを推奨します。

・Web授業ツールとしてTeams の機能も使います。

②授業の目的：

【対象者】会計学基礎や簿記原理を学習している方を対象とします。

＊リテラマーケティング検定3級を学習する方

＊ビジネス会計検定3級を学習する方。

＊就職試験のビジネス知識対策やメーカー・銀行・証券・金融関係での就職を目指す方。

＊日商簿記検定2級の工業簿記を学習する方。

③修得できる力：

（ビジネス総合学科DP）

・考える力（疑問を持って、自分で考える力）

- ・職業人として活躍できる幅広い教養
- ・ビジネススキル（情報、メディア、会計、販売、事務処理など）

④授業の到達目標：

就職活動に役立つ決算書を読む力を身に着けます。経営分析指標および分析公式やビジネス用語・知識を学びます。ビジネス会計検定の基礎論点を学びます。

1回の授業について、

・予習（1時間45分）：授業で取り上げる参考書などにより、授業の大まかな流れをつかんでおく・予習（1時間45分）：授業で取り上げる参考書などにより、授業の大まかな流れをつかんでおくこと。次回対象となる項目については各授業の終了時に説明する。

・復習（1時間45分）：授業で取り上げた論点を中心に、Webclass等を参照しながら各自ノート・配布資料等を見直し論点を整理すること。次回授業時に適宜内容を確認し、フィードバックを行う。

・課題の配布や提出を行うため、Webclass、Teams等のLMSを用いる。

準備学習等の指示

講義スケジュール

■1回目

【テーマ】経営分析の概念を知る： 授業概要、会計処理と財務諸表

【到達目標】

- ・決算書と公開電子情報にアクセスし、経営分析の概要を理解する。
- ・分析指標の概要と学習システムについて理解する。

【準備学習】

簿記の機能にかかわるマスコミ情報を一つ調べる。

【特記事項】簿記検定試験の紹介

■2回目

【テーマ】貸借対照表と損益計算書を理解する：基本用語と財務諸表，諸利益と原価

【到達目標】

- ・利益表示の意義と貸借対照表の解釈を理解する。
- ・決算書資料で簡易な分析を試みる。

【準備学習】

前回問題集の宿題の解答を提出する。（以下、提出）

【特記事項】授業内で随時の質問に、学習システムで回答する

■3回目

【テーマ】成長性の分析を知る 1：成長要因と経営、諸分析指標と変化率

【到達目標】

- ・損益計算書項目と期間比較、年度比較の関係を知る。
- ・貸借対照表項目と期間比較、年度比較の関係を知る。

【準備学習】

前回問題集の宿題の解答を提出する。

【特記事項】授業内で随時の質問に、学習システムで回答する

■4回目

【テーマ】 成長性の分析を知る 2 : 課題演習

【到達目標】

- ・ 多段階的利益表示で損益計算書分析の計算法を知る。
- ・ 実数値と差額・比率・変化率の関係を理解する。

【準備学習】

前回問題集の宿題の解答を提出する。

【特記事項】 授業内で随時の質問に、学習システムで回答する

■ 5回目

【テーマ】 収益性の分析を理解する 1 : 利益諸比率

【到達目標】

- ・ 収益項目と費用項目の変化と損益計算書の利益の関係を知る。
- ・ 貸借対照表項目と商工業の区分表示法を理解する。

【準備学習】

前回問題集の宿題の解答を提出する。

【特記事項】 授業内で随時の質問に、学習システムで回答する

■ 6回目

【テーマ】 収益性の分析を理解する 2 : 課題演習

【到達目標】

- ・ 配布資料により損益計算書の利益変化の関係を知る。
- ・ 配布資料により貸借対照表項目の変化の関係を理解する。

【準備学習】

前回問題集の宿題の解答を提出する。

【特記事項】 授業内で随時の質問に、学習システムで回答する

7回目

【テーマ】 各種回転率と貸借対照表 1 : 資本と利益

【到達目標】

- ・ 資本利益率、資産と収益の関係の意義を知る。
- ・ 資本利益率の要素分析を理解する。

【準備学習】

前回問題集の宿題の解答を提出する。

【特記事項】 授業内で随時の質問に、学習システムで回答する
(確認テストを予定)

■ 8回目

【テーマ】 各種回転率と貸借対照表 2 : 課題演習

【到達目標】

- ・ 配布資料により利益率・資本回転率の関係を知る。
- ・ 配布資料によりROE・ROI等の指標の意義を理解する。

【準備学習】

前回問題集の宿題の解答を提出する。

【特記事項】授業内で随時の質問に、学習システムで回答する

■ 9回目

【テーマ】経営活動とキャッシュフローを理解する：資金と経営活動を知る

【到達目標】

- ・貸借対照表の変化とキャッシュフローの意義を理解する。
- ・キャッシュフロー計算書の作成法を理解する。

【準備学習】

前回問題集の宿題の解答を提出する。

【特記事項】授業内で随時の質問に、学習システムで回答する

■ 10回目

【テーマ】経営活動とキャッシュフローを理解する：資金と経営活動を知る

【到達目標】

- ・キャッシュフロー計算書の3区分の意義を理解する。
- ・配布資料によりキャッシュフロー計算書を作成する。

【準備学習】

前回問題集の宿題の解答を提出する。

【特記事項】授業内で随時の質問に、学習システムで回答する

■ 11回目

【テーマ】損益分岐点分析を理解する(1)：短期利益計画と資金、固定費、貢献利益と変動費

【到達目標】

- ・決算書と変動費・固定費の関係を理解する。
- ・短期利益計画と資金および貢献利益を理解する。

【準備学習】

前回問題集の宿題の解答を提出する。

【特記事項】授業内で随時の質問に、学習システムで回答する

■ 12回目

【テーマ】損益分岐点分析を理解する(2)：短期利益計画と資金、固定費、貢献利益と変動費

【到達目標】

- ・配布資料により損益分岐点グラフを作成する。
- ・目標営業利益と貢献利益による問題の解法を理解する。

【準備学習】

前回問題集の宿題の解答を提出する。

【特記事項】授業内で随時の質問に、学習システムで回答する

■ 13回目

【テーマ】経営数値の比較分析演習：計算問題のまとめ

【到達目標】

- ・生成系AIによる決算書分析例を知る。
- ・証券金融業界と商業・工業における経営分析の位置づけを理解する。

【準備学習】

前回問題集の宿題の解答を提出する。

【特記事項】授業内で随時の質問に、学習システムで回答する
(確認テストを予定)

教科書 開講時に指示します。

参考文献 開講時に指示します。

この講義は主として、

- ・講義
- ・演習

形式で行います。

授業方法として下記のアクティブラーニングの手法を実践します。

・問答法（質問や小テストの結果、学習理解状況を確認、随時に進度を調整する。）

- ・学生の回答などのフィードバックが授業の構成要素に入っている
- ・学生への発問及びその回答が授業の構成要素に入っている

授業の方法 ・反転授業

- ・ICTを利用した授業内レスポンスの活用（Webclass）
- ・パワーポイント等スライド利用

【フィードバック方法】なお、小テスト・課題等については、

- ・個別にフィードバックを実施する
- ・各授業回で全体にフィードバックを実施する

学生のオンラインなどを含めた学修をサポートするため、下記のLMSを使用します。

- ・Webclass
- ・Teams

(スマートフォン、Zoom等を使う場合がある。)

【評価方法】筆記試験および課題提出

成績評価方法

【評価割合】 試験成績（小テスト含む）70%、授業への積極的取り組み・課題提出：30%

【評価基準】全課題の提出および授業への積極的取り組みを最低基準とし、試験の設問への理解度で評価します。

オフィスアワー

開講時に指示します。

居室

13号館6階 13-627

ホームページ

開講時に指示します。

【注意】＊受講には会計学基礎・簿記原理・簿記演習のどれかを学習している方が望ましい。＊基礎知識や日本語能力の不足している方には、毎回宿題を指示します。未提出の場合は成績に反映されます。

＊計算科目です、苦手な方は必ず本科目担当教員と相談の上履修を決定すること。

＊必ず「春学期1回の藤本担当の他授業科目」でガイダンスをしますので、出席し、相談の上履修してください。

＊特に「日本語能力が不足している方」は、必ず、相談の上、履修決定してください。

＊必ず計算機等を持参してください。

☆ビジネス会計検定３級の学習には、会計学基礎、簿記原理、経営分析論の全てか一部の履修が必要です。必ず相談の上履修してください。

☆日商簿記２級検定の学習には、経営分析論、経営財務論の全てか一部の履修に加え他講座の履修が必要です。必ず相談の上履修してください。

その他特記 事項

添付ファイ ル

[前画面へ戻る](#)